

研究機関名：下関市立市民病院

研究課題名：

BPSを使用した客観的評価が鎮静・鎮痛管理にもたらす変化

研究期間：

西暦 2012年 12月～西暦 2013年 4月

西暦 2014年 12月～西暦 2015年 4月

対象材料：

病理材料（対象臓器名）

生検材料（対象臓器名）

血液材料 遊離細胞

■その他（看護記録）調査項目：①挿管時間②ICU 在院日数③鎮静薬使用時間④鎮静薬総使用量⑤鎮静薬ボーラス回数・量⑥鎮静薬使用回数・量⑦RASS 平均⑧抜管後の不穩の有無

上記材料の採取期間： 西暦 2012年 12月～西暦 2013年 4月

西暦 2014年 12月～西暦 2015年 4月

意義：

- ①PAD Guide line に基づく「鎮痛優先の鎮静」が実施できているか明らかになる。
- ②「鎮痛優先の鎮静」の臨床的効果が明らかになる。
- ③今後のICUにおける適切な鎮静・鎮痛管理に生かすことができる。

目的：

RASS 及び BPS 評価に基づく「鎮痛優先の鎮静」の実施状況を2012年12月～2013年4月と2014年12月～2015年4月で比較し、その効果を検証する。

方法：

対象期間における鎮静薬を使用し、人工呼吸器管理をした術後及び非術後患者の調査項目に、BPS 導入後の変化があるかを検証する。

個人情報の取り扱い：

患者様は匿名化され、記載状況からも特定されない配慮がされている。

問い合わせ・苦情等の窓口：

〒750-0041

山口県下関市向洋町一丁目13番1号

下関市立市民病院 救命センター 木原 智行

TEL 083-231-4111 FAX 083-224-3838